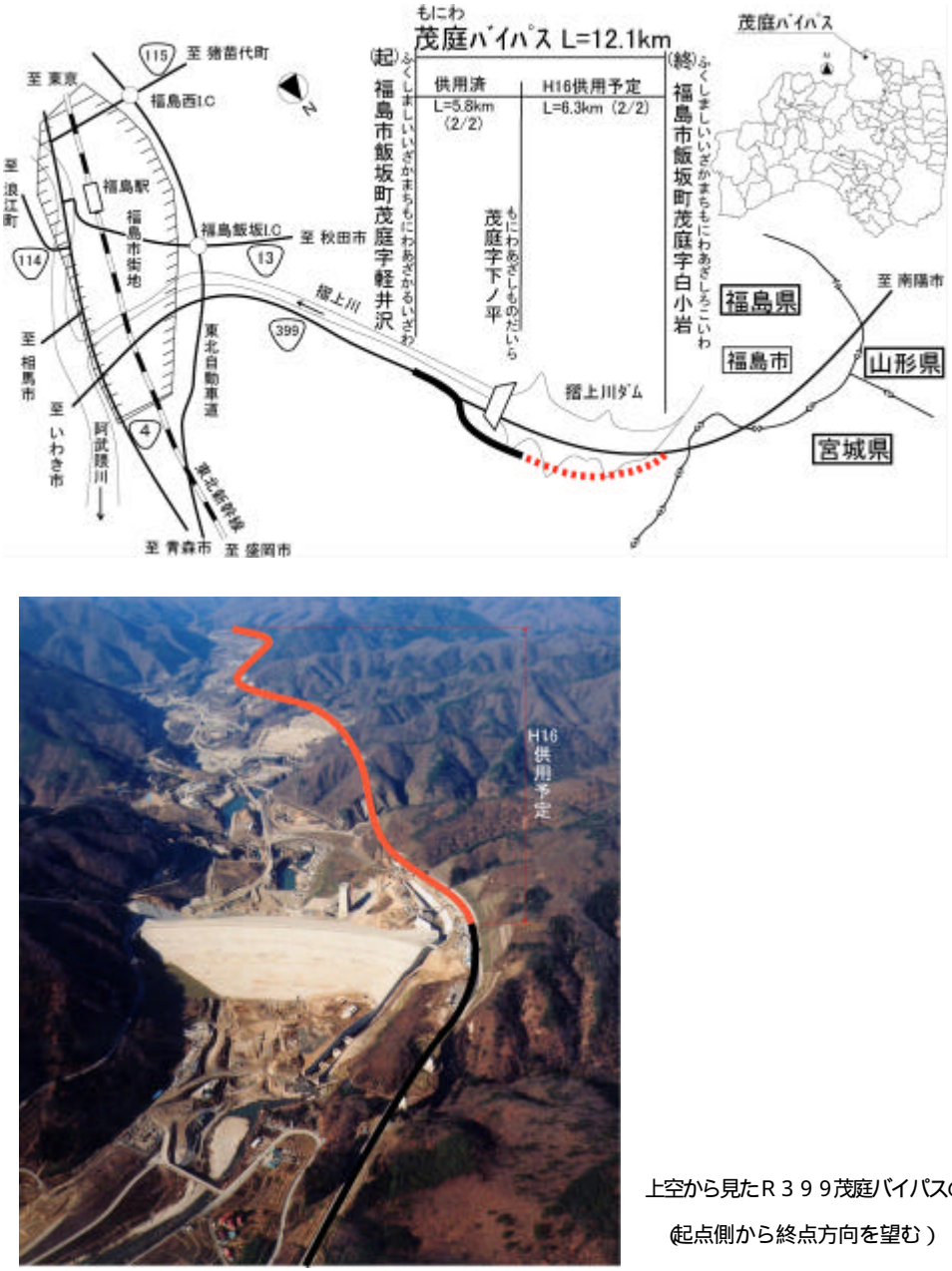
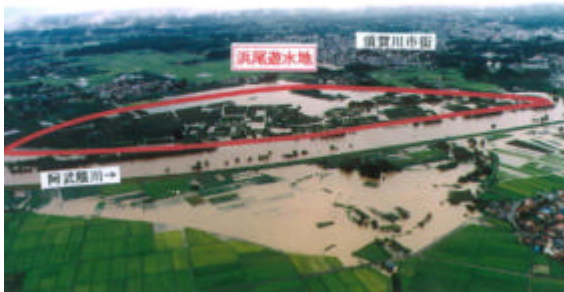


<p>事業名</p>	<p>一般国道399号 <sup>もにわ</sup>茂庭バイパス（<sup>ふくしま</sup>福島県福島市）                  （平成16年度完成供用）</p>
<p>事業概要</p>	<p>福島県では、<sup>すりかみがわ</sup>摺上川ダム建設（国直轄事業）にともなう道路付替工事と連携を図り、<sup>ふくしま</sup>福島市飯坂町茂庭地内の幅員狭小等隘路区間の解消を目的としたバイパス整備を進めています。</p> <p>この事業により一般国道の交通の円滑化が図られるとともに、新たな観光地としての期待も高い摺上川ダムへの観光ルートとして、さらには周辺観光施設との相乗効果により<sup>もにわ</sup>地域活性化が期待されます。</p> <p><b>平成16年度は、全線2車線供用を目指します。</b></p>
<p>位置図 写真等</p>	 <p>上空から見たR399茂庭バイパスの状況                  （起点側から終点方向を望む）</p>

<p>事業名</p>	<p>あぶくまがわ はまお  <b>阿武隈川上流（浜尾地区）床上浸水対策特別緊急事業</b>                  （福島県須賀川市）（平成16年度完成）</p>
<p>事業概要</p>	<p>あぶくまがわ                  阿武隈川沿川は、平成10年8月末の計画高水位を越える洪水により、全半壊家屋240戸、浸水家屋3,781戸にのぼる甚大な被害に見舞われました。</p> <p>阿武隈川ではS61年，H元年，H3年，H10年と頻りに水害が発生していますが、堤防の未整備区間や堤防断面の不足さらには漏水等弱小堤防も多く残されており、ポンプ場などの内水排除施設の整備も遅れています。</p> <p>そこで、下流部の水位の低減を図るため、阿武隈川の上流部に位置する<b>浜尾地区</b>に「<b>床上浸水対策特別緊急事業</b>」により<b>遊水地</b>を整備し、平成16年度の完成を図ります。</p> <p>&lt;事業内容&gt;                  用地国債</p>

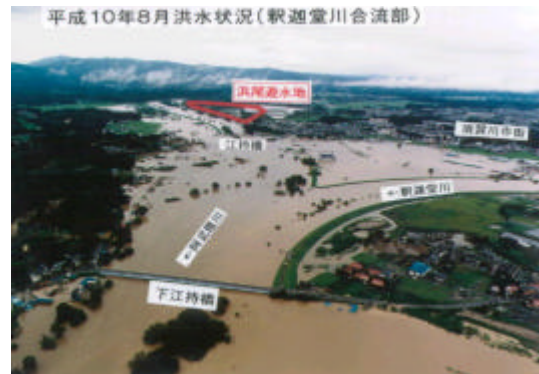
<p>事業効果等</p>	<p>下流の洪水被害を軽減します</p>
--------------	----------------------

平成10年8月洪水状況（浜尾地区）



平成10年8月末洪水氾濫状況

平成10年8月洪水状況（釈迦堂川合流部）



遊水地並びに築堤等による整備効果



浸水戸数 187戸



浸水戸数 0戸



事業区分：河川、直轄事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

<p>事業名</p>	<p>旧北上川<small>きゅうきたかみがわ</small>分流施設改築事業（宮城県津山町<small>つやまちょう</small>、豊里町<small>とよさとちょう</small>） （平成16年度完成）</p>
<p>事業概要</p>	<p>北上川<small>きたかみがわ</small>河口より約26.0km上流の地点で旧北上川<small>きゅうきたかみがわ</small>へ分流している現在の鴉波洗堰<small>ときなみらいげき</small>、脇谷洗堰<small>わきやらいげき</small>・閘門<small>こうもん</small>は、建設後70年間が経過した施設で、現在の水準では安全性や機能が不十分となっています。そこで、現在の分流施設は土木技術の黎明期に設置された貴重な土木施設であることから、歴史的文化遺産として動態保存し、新規分流施設として水門2基を設置します。</p> <p>このため、北上川下流域の治水安全度を向上させるために、平成8年から特定構造物改築事業により旧北上川分流堰の改築に着手しており平成16年度は、「鴉波水門建設工事」及び関連する堤防の進捗を図り、事業の完成を図ります。</p> <p>&lt;事業内容&gt; 鴉波水門 1式 築堤 L=40m</p>
<p>事業効果等</p>	



事業区分：河川、直轄事業


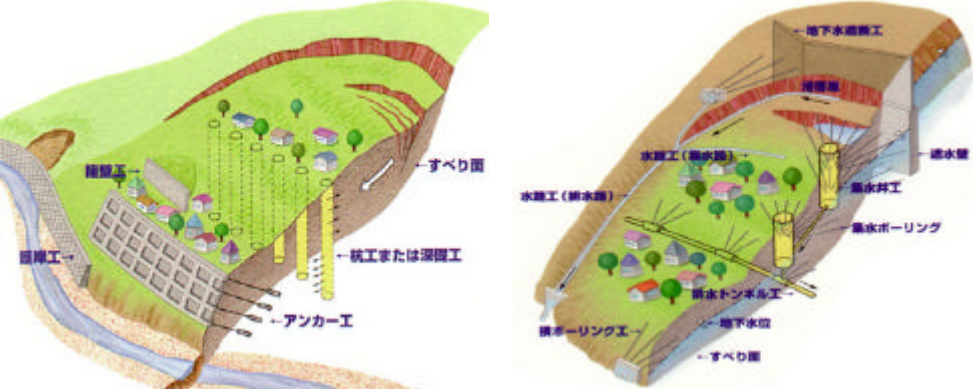
施策分類：安全で安心できる地域づくり

事業名	もがみがわ 最上川水系直轄砂防事業    あかすな 赤砂第七砂防堰堤（山形県大蔵村） (平成16年度完成)
事業概要	どうざんがわ 銅山川流域    あかすながわ 赤砂川では、地すべり性崩壊が発生しており、下流域での土砂災害の危険が非常に高いため、銅山川流域の土砂災害被害を軽減するため進めていた砂防堰堤の整備を、平成16年度に完成させます。 堰堤型式            鋼製格子枠スリット 堰堤高                14.5m 土砂整備効果量    158,300m <sup>3</sup>
位置図 写真等	 <p>銅山川流域赤砂川</p> <p>赤砂第七砂防堰堤</p>  <p>上流域の崩壊状況</p>  <p>完成イメージ図</p>



事業区分：河川、直轄事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

<p>事業名</p>	<p>最上川水系直轄地すべり対策事業 <sup>もがみがわ</sup>黒淵地区地すべり(山形県<sup>とざわむら</sup>戸沢村) (平成16年度完成)</p>
<p>事業概要</p>	<p><sup>くるぶち</sup>黒淵地区地すべりは直轄管理河川の<sup>もがみがわ</sup>最上川に隣接しており、地すべりが発生した場合、<sup>とざわむら</sup>戸沢村<sup>くらあか</sup>蔵岡地区は勿論のこと、その土砂が最上川本川を閉塞させ二次災害を招く恐れがあり、また重要交通である国道47号が地すべり地内を通過することなどから、地すべり対策(排水工、抑止杭工など)を緊急かつ重点的に実施してきたところであります。対策工の進捗により地すべりの挙動が安定しているため、平成16年度に直轄事業として全国で初めて完成させ、地すべり災害の防止を図るとともに山形県に事業を引き継ぎます。</p>
<p>位置図 写真等</p>	  <p style="text-align: center;">地すべり対策工の例</p>

事業区分：河川、直轄事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

<p>事業名</p>	<p>阿武隈川水系直轄火山砂防事業 須川第一砂防堰堤（福島県福島市） （平成16年度完成）</p>
<p>事業概要</p>	<p>須川流域上流部には、吾妻山の火山噴出物が広く分布し、上流荒廃地からの流出土砂に伴う洪水氾濫により、福島市在庭坂・桜本地区をはじめ須川流域が土砂災害被害を受けています。</p> <p>平成16年度は、土砂被害の軽減のため進めていた砂防堰堤の整備を完成させます。</p> <p>堰堤型式 重力式コンクリートスリット      堰堤高 8.5m 土砂整備効果量 10,100m<sup>3</sup></p>

位置図  
写真等



須川流域上流部の荒廃状況



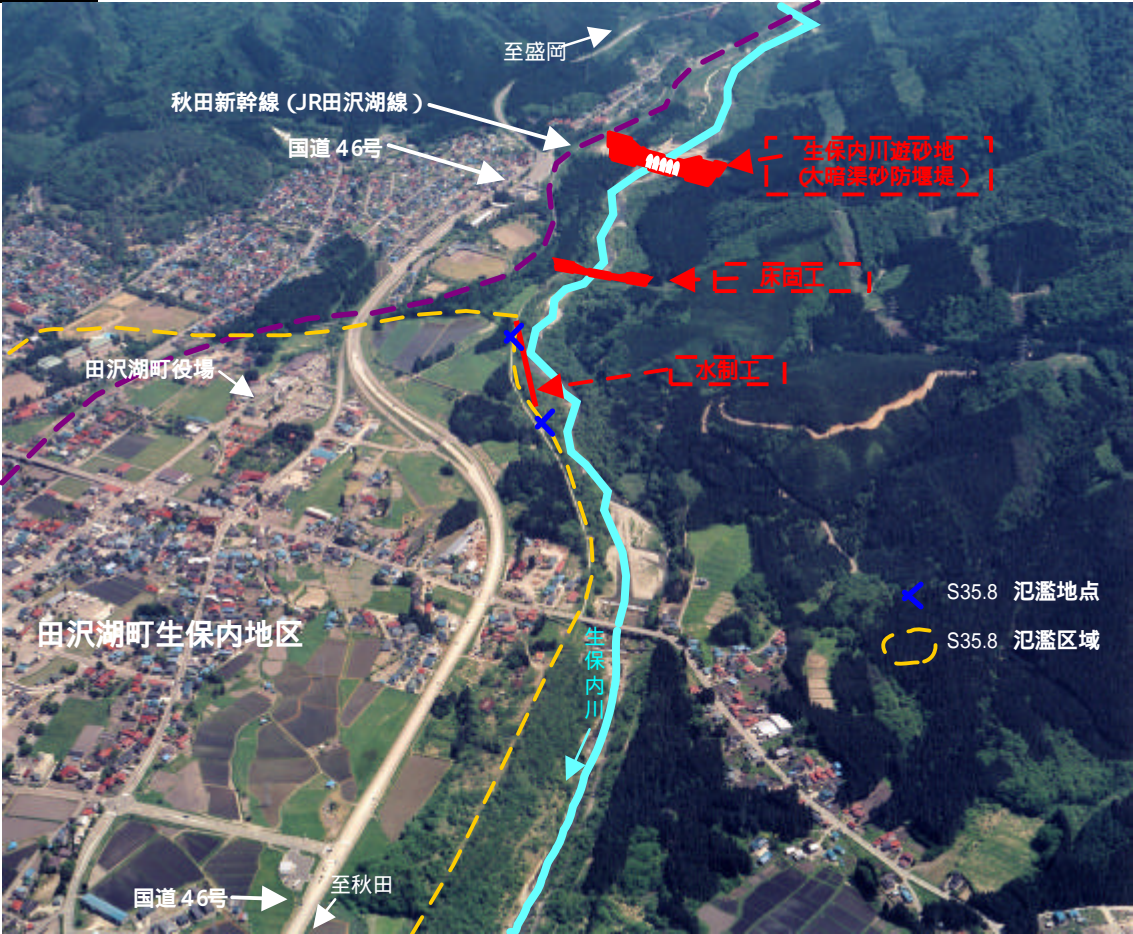
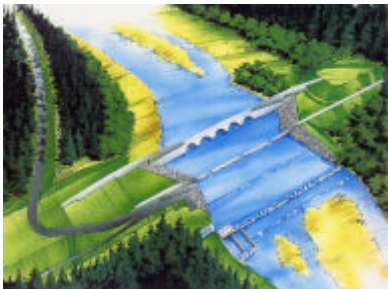

事業区分：河川、直轄事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

<p>事業名</p>	<p>八幡平山系直轄火山砂防事業 橋場安栖沢床固 (岩手県雫石町) (平成16年度完成)</p>
<p>事業概要</p>	<p>橋場地区安栖沢は土石流危険渓流であり、雫石町橋場地区の橋場小学校、橋場保育園などの災害弱者施設、国道46号及び人家10戸が土砂災害の危険にさらされています。</p> <p>平成16年度は、土砂災害被害を軽減させるため進めていた床固の整備を完成させます。</p> <p>また、床固の施工にあたって発生する木材及び間伐材を型枠に使用し、周辺景観との調和を図ります。</p> <p>構造 重力式コンクリート(木製残存型枠使用)</p> <p>堤高 1号床固 4.0m 土砂整備効果量 1,200m<sup>3</sup></p>
<p>位置図 写真等</p>	 <p>完成イメージ図</p>

事業区分：河川、直轄事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

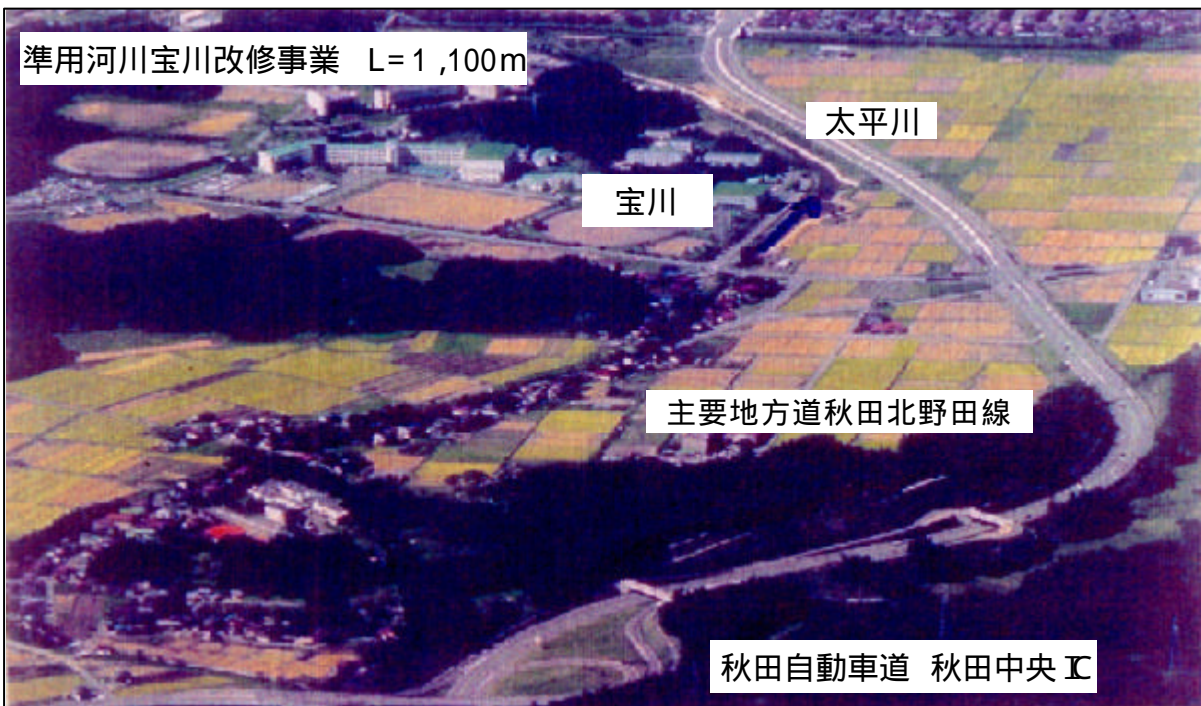
<p>事業名</p>	<p>八幡平山系直轄火山砂防事業 生保内川遊砂地 (秋田県田沢湖町) (平成16年度完成)</p>
<p>事業概要</p>	<p>生保内川は、昭和35年8月の集中豪雨により、上流荒廃地からの流出土砂に伴う洪水氾濫が発生し田沢湖町中心部の生保内地区は壊滅的な被害を受けています。</p> <p>平成16年度は、生保内地区をはじめ生保内川流域の土砂災害被害を軽減するため進めていた砂防設備の整備を完成させます。</p> <p>堰堤型式 重力式コンクリート(大暗渠堰堤・床固工・水制工)</p> <p>堰堤高 8.5m 土砂整備効果量 479,200m<sup>3</sup></p>
<p>位置図 写真等</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="317 1760 707 2047">  <p>完成イメージ図</p> </div> <div data-bbox="967 1760 1195 2047">  <p>昭和35年8月災害(JR田沢湖線被災状況)</p> </div> </div>



<p>事業名</p>	<p>ぬまかわ あおもりし  <b>沼川都市基盤河川改修事業（青森県青森市）</b>                  （平成16年度完成）</p>
<p>事業概要</p>	<p>ぬまかわ あおもりし                  沼川は青森市東部に位置し、その下流域は市街化区域となっており、防災上重要な位置を占めています。しかし、これまで一部現川なりに手は入っているものの、ほとんどが未改修のままで、豪雨融雪のたびに氾濫を繰り返していました。</p> <p>このため、青森市は昭和62年より一定計画に基づく改修を行い、流下断面の拡大、流路是正によって、洪水被害の防御を図ってきました。</p> <p>平成16年度は、築堤、護岸工（ともにL = 142m）の実施により完成させます。</p>
<p>位置図・写真等</p>	<div data-bbox="472 898 1299 1462" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="233 1552 963 1977" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="312 1989 852 2029" data-label="Caption"> <p>出水状況（平成11年10月28日）</p> </div> <div data-bbox="1082 1552 1225 1603" data-label="Caption"> <p>位置図</p> </div> <div data-bbox="1002 1626 1342 1977" data-label="Image"> </div>

<p>事業名</p>	<p><small>たからがわ</small>宝川<small>あきたし</small>準用河川改修事業（秋田県秋田市） （平成16年度完成）</p>
<p>事業概要</p>	<p><small>たからがわ</small>準用河川宝川<small>たいへいがわ</small>は一級河川太平川にそそぐ河川ですが、流下能力が小さいため住宅地や農地などにおいて、たびたび浸水被害が発生していました。</p> <p>これらの浸水被害を解消するため、昭和60年度から改修事業に着手してきました。</p> <p>平成16年度は、築堤及び護岸（ともにL = 44m）を実施し完成させます。</p>

位置図・  
写真等



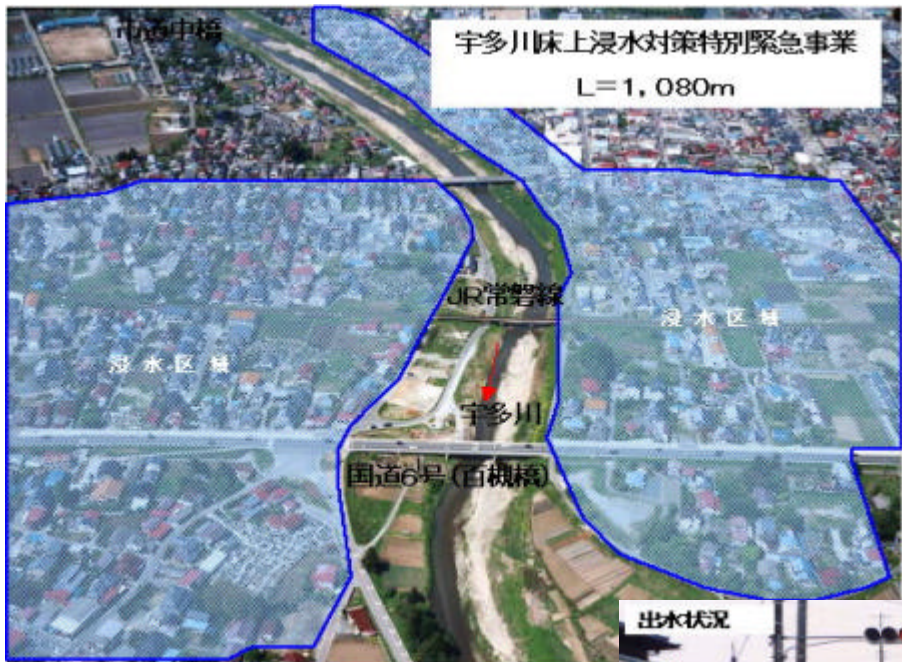


**事業名** うだがわ 宇多川床上浸水対策特別緊急事業( そうまし 福島県相馬市 )(平成16年度完成)

**事業概要** うだがわ 宇多川は、そうまし 相馬市の市街地中心部を貫流し、まつかわうら 松川浦を経て太平洋に注ぐ二級河川です。本河川は、じょうばんせん JR常磐線付近において特に流下能力が低く、平成元年以降6回の浸水に見舞われています。  
 特に平成元年の台風13号では、床上浸水304戸、床下浸水410戸の浸水被害に見舞われました。  
 これらの被害解消のため、河川の掘削や築堤等を行い、河川断面を拡大し、流下能力の向上を図ります。  
**平成16年度は、掘削、護岸、県道付け替えを実施し完成させます。**

**位置図・写真等**

	浸水面積	浸水家屋
着手前	32.3ha	304戸
着手後	0	0



平成元年浸水実績



事業区分：砂防、補助事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

<p>事業名</p>	<p>おおただのこしさわ かまいしし  <b>大只越の沢通常砂防事業(岩手県釜石市)</b> (平成16年度完成)</p>
<p>事業概要</p>	<p>おおただのこしさわ かまいしし          大只越の沢は釜石市の市街地に位置する土石流危険渓流です。保全対象は人家114戸のほか裁判所等の官公署や、災害弱者関連施設である明法幼稚園も含まれています。釜石市は平成14年7月の台風6号による豪雨により土砂災害が発生し、甚大な被害を被った地域でもあり、平成16年度は、砂防えん堤を完成させます。</p> <p>〔事業概要〕・事業期間 H13～H16          ・事業内容 砂防えん堤 1基</p>
<p>位置図・ 写真等</p>	<div data-bbox="518 790 1324 1314" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="247 1375 683 2009" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="730 1408 1390 1899" data-label="Image"> </div>



事業区分：砂防、補助事業

施策分類：安全で安心できる地域づくり

<p>事業名</p>	<p>たきかわ くにみちよう  <b>滝川通常砂防事業（福島県国見町）</b> <span style="float: right;">（平成16年度完成）</span></p>
<p>事業概要</p>	<p>たきかわ ふくしま とうほくほんせん ふじた          滝川は県都福島市に隣接し、JR東北本線の藤田駅や東北自動車道国見I・C等があり利便性が高い地域であり、周辺では担手育成基盤整備や民間宅地開発が行われています。しかし、土砂災害に対する安全度が低いことから、住宅開発を含めた住宅供給可能地の安全度の向上を図るため、平成16年度は、護岸工 L = 200m（うち特治 L = 180m）を完成させます。</p> <p>事業着手 昭和63年          事業概要 護岸工 全体 L = 1,660m          通常砂防事業 L = 850m          住宅宅地基盤特定治水施設等整備事業(特治) L = 810m</p>
<p>位置図・写真等</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="181 1025 715 1397"> <p>平面図</p> </div> <div data-bbox="746 891 1401 1397"> <p>開発が進む国見町</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="229 1503 740 1861"> <p>宅地の開発状況</p> </div> <div data-bbox="831 1503 1334 1861"> <p>平成14年7月16日（台風6号）災害</p> </div> </div>

<p>事業名</p>	<p>なかまる 仲丸地区特定緊急地すべり対策事業（山形県西村山郡朝日町） （平成16年度完成）</p>
<p>事業概要</p>	<p>平成14年3月19日に融雪に起因し幅130m、長さ250mにわたり地すべりが発生し県道・送電施設・耕地等に被害が及びました。また、地すべり直下の猿田沢川に土砂が流出した場合、甚大な被害が予想される為、災害関連緊急地すべり対策事業で対策を実施してきていました。その災害フォローとして集中的に実施してきた<b>特定緊急地すべり対策事業</b>を平成16年度に完成させ、同地域の土砂災害の解消を図ります。</p> <p>〔事業概要〕・事業期間 H15～H16 ・事業内容 地すべり対策工 1式</p>
<p>位置図・写真等</p>	